

収運時間・ルート再検討

道路交通安全ISO39001取得

安全を基盤に効率向上

大昭工業（本社・名古屋市長、☎052・5035311）は、3月

25日に道路交通安全マネジメントシステムISO39001を取

得、交通事故ゼロに向けて廃棄物収集運搬の時間帯やルートなどを再検討することになった。従来から取り組んできた運転手の状況把握については、全員による自主安全

活動表での心身の詳細な危険予知チェックにも着手した。木村社長は、「無事故・無違反が当社の品質であり、認証取得の目的。愛知県内の廃棄物処理業では初めまだ全国的にも取得企業は大変少ないが、ISOの看板がほしい訳ではない。安全を強固な基盤にした上で、効率向上に努めた」と述べている。

事業系一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬と産業廃棄物中間処理・RPF製造（工場・愛知県飛島村）、浄化槽メンテナンスなどを手掛ける。ISOについては、環境に係るISO



木村社長(左)と認証組織のBSIグループジャパン・井上正昭営業マネージャー

は、14001、品質に係るISO9001の認証も取得している。

事業における廃棄物収集運搬と浄化槽メンテナンスの比重が大きく、車両台数はトラックや平ボディ車など50台にのぼる。

今回の認証取得にあたり、収集運搬車両などに加え、自社構内のフォークリフトも対象にした。安全に関する側面として、道路の種類（自社構内、顧客先の敷地内、一般道路、高速道路など）と他の車両や通行人数、規制速度、学校の有無など詳細な実態、想定される事故の分析を行った。

その上で、収集運搬時間帯の変更や注意喚起、自社近辺へのミラー設置、デジタルタコグラフ導入などソフトとハードに関する具体的な対策を進めている。